

いじめSTOP！愛顔あふれる地域フォーラム2018 教育長あいさつ

平成30年12月1日（土）
丹原文化会館
平成30年12月8日（土）
国立大洲青少年交流の家
平成30年12月15日（土）
砥部町文化会館

本日、「いじめSTOP！愛顔あふれる地域フォーラム2018」を開催しましたところ、多くの皆様に参加していただき、誠に、ありがとうございます。

愛媛県では平成27年度から平成29年度の3か年にわたり、「いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム」を開催し、子どもたちによる、子どもたちのための「いじめSTOP愛顔の子ども宣言」を参加者全員で作成して、県下全ての子どもたちに伝えてきました。その宣言文の1つ目には「みんなの心に穴をあけてしまう、いじめは絶対に許しません」とあり、いじめを許さない強い気持ちが表されています。これまで、フォーラムに参加した人たちを中心に、学校や地域のリーダーとして、かけがえのない仲間を守る学校づくりや地域づくりに積極的に取り組んでいただいていることを、心強く思っております。

しかしながら、先日公表された文部科学省の調査結果によると、全国のいじめ認知件数は、41万4378件で過去最多を更新し、県内におけるいじめ認知件数についても、ここ数年2,000件を超える状態が続いています。

このため、本県としては、これまでの子どもフォーラムの成果を生かしながら、地域全体で子どもたちをサポートする体制を築くことが、いじめ問題において重要な鍵を握るものと考え、今年度から「地域フォーラム」という形で開催することといたしました。

このフォーラムでは、児童・生徒の皆さんだけではなく、愛媛大学の学生の皆さんをはじめ、PTAや地域の方々などにも参加していただき、分科会でのグループ協議や全体会での意見交換会等を通じて、一人ひとりがいじめ問題としっかりと向き合い、学校、家庭、地域を含めた社会総がかりで、いじめの未然防止や早期発見・早期対応などの取組を推進するとともに、県全体への普及啓発やサポート体制の構築を図っていきたいと考えています。

特に、分科会では、ベストセラーとなった吉野 源三郎 著作の「君たちはどう生きるか」の一場面から、いじめ問題について考えていただくこととしており、様々な人たちと意見を交わし、自分を振り返ることが、それぞれのお立場において、必ずや、いじめをなくす行動につながるものと確信しています。

結びに、このフォーラムを開催するに当たり、御協力いただきました市町教育委員会、各学校、愛媛大学教育学部、PTAをはじめとする関係の皆様方に厚く感謝申し上げます。開会の挨拶といたします。